

# 不動院だより



第3号

平成23年 12月



## 三部山 不動院

〒719-0302 岡山県浅口郡里庄町新庄3167

TEL (0865) 64-2102 FAX (0865) 64-2159

高野山真言宗備中霊場 第79番  
瀬戸内三十三観音霊場 第19番  
備中浅口西国霊場 第11番

### 主な行事等

平成二十三年

十二月七日～二十四日

守懸（里庄・鴨方・金光・笠岡・寄島）

十二月三十一日

除夜の鐘

平成二十四年

一月二日午前中

年頭受け

一月四日～十日

年頭廻り

三月二日～七日

常楽会

三月十七日～二十三日

彼岸参り

五月二十八日

花まつり

### 「大晦日」とは？

一年の最後の日（十二月三十一日）のことを一般的に「大晦日」と言いますが「大晦」とも呼びびます。  
「晦日」とは毎月（おとこもり）に末日のことです。又「晦」とは月が隠れる日すなわち「月隠」（つきこもり）がなまったもので、どちらも毎月の末日を指します。

十二月三十一日は一年の最後の特別な末日を表わすため二つの言葉のそれぞれに「大」を付けて「大晦日」「大晦」と呼ばれるようになりました。

また大晦日は地方によっては、一晚中眠らずに「歳神様」を迎える日で、この夜早く寝ると白髪やシワが寄るなどの俗信がありました。

そのためか大晦日の夜は寝ずに明かすのが昔からの風習でした。この風習が簡略化されて夜中から神社などに参拝するようになり、初詣の習慣と重なったようです。

### 年越し蕎麦

年越し蕎麦の風習は江戸時代中頃に広まったという説があり大晦日に一年の締めくくりとして縁起をかついで食べられるようになりました。

人生は蕎麦のように細く、長く、達者に暮らせることを願ってというのが一般的なようです。

蕎麦が切れやすいことから、一年間の苦勞を切り捨て翌年に持ち越さないとも言われています。そのため蕎麦は、年を越す前に食べきった方がよいとされています。

食べる時間や食べ方の決まりは特にありませんが、夕食後の夜食として十時から十一時頃に食べて初詣に出かけてはいかがでしょうか。食べる前はこの一年を振り返り無事に過ごせたことに感謝して召し上がってください。

第3号 平成23年（2011年）12月1日発行

※年2回（8月・12月）発行予定

表紙絵 「初秋の不動院」 渡邊悦子  
発行者 不動院住職 渡邊隆厚